

## アシストスーツお試し体験会を実施しました

近年、農業の担い手不足や高齢化が進み農業者一人当たりの経営面積が増加する中、農作業の省力化が求められており、各地でスマート農業の導入推進が図られています。特に、当地域は県下有数のワイン用ぶどうの産地であり、収穫作業時の負担軽減が求められているため、東御市においてワイン用ぶどう生産者を対象に、10月12日～13日にアシストスーツお試し体験会を実施しました。

軽作業向けで腰等の負担軽減を目的とする無動力タイプや、補助力を必要とする作業に適するモーター駆動型などアシストスーツにも様々あり、今回は4種類を試していただきました。生産者から、「作業時の腰の不安が軽減した」、「思ったより軽くて動きやすい」、「脱着に時間がかかりすぎる」など、色々な感想をいただきました。

今後も、地域農業の生産振興を図るため、スマート農業の実装支援を実施していきます。



オンラインによる装着説明